

1 題材名 「小美玉発！魅力が伝わるパッケージデザイン」

2 題材の目標

- ・ 商品の味やイメージを伝えるためにパッケージで表現することに関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとする。 (美術への関心・意欲・態度)
- ・ 商品の味やイメージを多くの人に伝えるために、形や色彩などの効果や購入する人の気持ちを考えて表現の構想を練ることができる。 (発想や構想の能力)
- ・ アクリル絵の具や色鉛筆、カラーペンなど描画材料の特性を生かし、表したいイメージに合わせて工夫して表現することができる。 (創造的な技能)
- ・ 市販の商品パッケージや友達の作品を鑑賞し、商品の味やイメージを伝えるパッケージとしての表現の工夫や調和のとれた美しさなどを感じ取ることができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、小美玉市の畜農産物を材料にした商品を企画し、商品パッケージをデザインする学習である。中学校学習指導要領美術科の第2学年及び第3学年内容A表現(2)イでは、「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」が示されている。本題材は、地域の特産物を対象にすることで生徒の意欲的な活動を引き出すとともに、パッケージを手にした受け手の印象などを考えながら、どのような内容の商品か、どのようなイメージをどのような客層に伝えたいかなど、条件を基に十分に構想を練り、つくり上げていくことが期待できる。

本学級の生徒は、学習課題に前向きで、美術の学習にも楽しく取り組むことができる。1学期に学習した「合格！必勝！だるまをつくろう ～心でとらえたイメージ～」では、アクリル絵の具を使って様々な表現効果を学習し、それを生かして制作に取り組むことができた。しかし、デザインを考えるのに時間がかかり、制作が滞って集中力を持続できなくなってしまったり、友達の表現に安易に影響を受けてしまったりする生徒もいた。意識調査では、どのような作品を制作するか考える活動について「あまり好きでない・嫌い」と答えた生徒が学級の半数以上で、その理由としては「考えるのが苦手」、「アイデアがなかなか浮かばない」、「絵を描くのが苦手」といった回答が多かった。一方で発想や構想の活動で悩んだ場合は、教科書や参考作品、友達の作品を参考にしたり、友達に意見を聞いたりするという回答や、生活の中で、形や色彩など美術の要素に気付く生徒が少ないという回答が多くあった。

美術の学習に関する意識調査 (平成29. * . *実施 小美玉市立美野里中学校第3学年*組*人)

質問内容・回答	
1	制作前にどんな作品にするか(下がりやデザイン)を考える活動は好きですか。 ・好き *人 ・まあまあ好き *人 ・あまり好きでない *人 ・嫌い *人
2	デザインを考えたときに悩んだ場合、どうしたら解決できそうですか。(複数回答可) ・教科書や参考作品を見る *人 ・友達の作品を参考にする *人 ・友達に聞く *人 ・自分でよく考える *人 ・自分の好きなものを描く *人 ・遊び心を入れる *人 ・単純に考える *人 ・身の回りの物から連想する *人 ・考えをたくさん出す *人 ・なし *人
3	普段、生活の中で、形や色彩など美術の要素に気が付くことはありますか。 ・ある *人 ・ない *人 あると答えた人…どのようなものに美術の要素を感じたかの回答例 洋服のデザイン、お店の看板、インテリア、バースデーカード、花など自然物、建造物

以上のことを踏まえ、本題材では、発想や構想の段階で、友達と十分に話し合いができるようにし、表現の構想を練ることができるようにする。まず、導入の段階では、市販の商品パッケージを鑑賞し、題材への興味・関心を高める。そして、商品のイメージをパッケージでどのように表現しているかをグループで話し合うようにする。話し合いでは、個人としての感じ方や好みにとどまらず、多くの人が共通に感じる感覚について意識させ、意見交流を通して、様々な見方を広げられるようにする。

次に、商品企画の段階では、商品の内容や伝えたいイメージなどを設定し、それを基にパッケージのデザインを考えるようにする。形や色彩などの効果や購入する人の気持ちを考えながら表現の構想を練らせた。また、ここでも、各自が考えたパッケージデザインについてグループで意見を交流する機会を設定する。その際、「パッケージチェックリスト」と名付けたワークシートを活用することで、互いに視点を明確にして評価ができるようにする。これらの活動を通して、条件を基にパッケージの構想を練ることができるように考える。

4 題材の評価規準

観点	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価 規準	・商品の味やイメージを伝えるためにパッケージで表現することに関心をもち、主体的に活動に取り組もうとしている。	・商品の味やイメージを多くの人に伝えるために、形や色彩などの効果や購入する人の気持ちを考えながら表現の構想を練っている。	・アクリル絵の具や色鉛筆、カラーペンなど描画材料の特性を生かし、表したいイメージに合わせて工夫して表現している。	・市販の商品パッケージや友達の作品を鑑賞し、商品の味やイメージなどを伝えるパッケージとしての表現の工夫や調和のとれた美しさなどを感じ取っている。

5 指導と評価の計画（12時間扱い）

次	時	学 習 活 動	関	発	技	鑑
1	1	市販の商品パッケージを鑑賞する。	○			○
2	1	商品の種類や特徴、イメージなどの内容を考え、商品企画書を作成する。	○			
	3	商品企画書を基にデザインを描く。		○		
	①	商品の内容やデザインについて話し合い、友達のアドバイスを参考にしてデザインの構想を練る。		○		
3	5	商品企画書を基にパッケージの制作をする。 ・アクリル絵の具や色鉛筆、カラーペンなどの描画材料の特性を生かして表現する。	○		○	
4	1	完成した作品の鑑賞会を行う。				○

6 本時の学習

(1) 目 標

話し合いを通して、商品のイメージが多くの人に伝わるように工夫してデザインの構想を練ることができる。

(2) 準備・資料

商品企画書、パッケージチェックリスト、司会進行例、配色カード、図案集等資料、色鉛筆、定規、筆記用具、教科書、資料集

(3) 展 開

学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)
<p>1 本時の目標を確認する。</p> <div data-bbox="252 322 821 481" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"><p>商品のイメージをたくさんの人に伝えるパッケージにするため、アドバイスをし合おう。</p></div> <p>2 商品企画書を基にデザインについて話し合う。</p> <p><グループの活動内容></p> <p>① 商品のイメージや内容、デザインを発表する。</p> <p>② パッケージチェックリストの項目に沿って評価する。</p> <p><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none">・オリジナリティーがある。・文字や絵柄に工夫がある。・味がイメージできる。・テーマが伝わってくる。・買ってみたいパッケージである。 <p>③ チェックリストを基に、他のメンバーのデザインについてアドバイスをを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・配色カードや資料集等を参考にする。 <p>3 商品企画書のデザインを仕上げる。</p> <p>4 学習カードに本時の振り返りを記入する。</p> <p>5 片付けを行う。</p> <p>6 本時のまとめと次時の予定を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・休み時間を使い用具を準備するよう促す。・たくさんの人に商品のイメージを伝えるパッケージにするための話合いであることを伝え、生徒が商品の企画会議のようなイメージをもてるように説明する。・<グループの活動内容>を掲示して本時の流れを把握できるようにする。・スムーズに活動ができるよう、司会や発表の原稿をグループに配付する。・客観的な視点で評価を行うことを伝える。・相手のコンセプトを尊重しながら、具体的なアドバイスができるよう助言する。・話合いが滞っているグループには、配色カードの使い方を示したり、文字のデザインなど部分に注目して考えるよう助言したりする。・たくさんの人に商品のイメージが伝わるように、アドバイスを基に修正したり、アイデアを付け足したりしてデザインを仕上げるように助言する。 <div data-bbox="858 1487 1433 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>◎商品の味やイメージを多くの人に伝えるために、形や色彩などの効果や購入する人の気持ちを考えて表現の構想を練っている。</p><p style="text-align: right;"><発想や構想の能力> (観察、ワークシート)</p></div> <ul style="list-style-type: none">・話合いを経て作品がどのように変容したかなどを記入するよう助言する。・本時の学習の成果を伝え、次時の活動への意欲付けをする。